



YURIHAMA
湯梨浜中学校だより
三智創造



令和6年1月5日
第33号 文責 梅原恵和
〒689-0737
湯梨浜町大字長江51番地
TEL (0858) 47-5500

今年もよろしくお願ひします

今年のお正月はどうだったでしょうか。新年早々に石川県能登地方で震災があったり、日本航空と海上保安庁の航空機の衝突事故があったりして、とても暗いニュースでのスタートとなってしまいました。我々にできることといえば、亡くなった方のご冥福と被災地の早期復興をお祈りしながら、自分たちにできる支援をしつつ、自らの日常生活を充実させていくことではないかと感じています。令和6年の終わりに、今年もいい年だったと言える1年になるよう頑張っていきましょう。保護者のみなさまにおかれましても、本年もまた、湯梨浜中学校教育に、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



生徒のみなさんへ新たな年を迎えて

新しい年がスタートし、いよいよ今日から3学期が始まりました。3学期は行事も少なく、授業がたんたんと続く毎日になります。しかし、最も集中して学習に取り組める学期でもあります。また部活動の面でも、この冬場に手を抜かずに頑張った学校ほど毎年いい成績を残しています。この3学期は学習においても、部活動においてもとても大切な学期なのです。

さて、みなさんはどんな気持ちで新年を迎えたのでしょうか。以前3学期の始業式の時、当時の校長先生が「新しい年を迎えると心が引き締まりますね」と言われました。しかしその時の私はというと、実はそんなに心が引き締まっていませんでした。学年初めの4月は毎年心が引き締まるのですが、お正月（3学期の始業式）はそれほどでもなかったのです。理由は簡単です。何かの節目を迎えた時、「これから（も）〇〇に頑張ろう」「今後は（も）△△を目標にしていこう」など、前向きな目標を立て、心新たに頑張ろうとしている人は心が引き締まるのです。ところが、ただ何となく新年を迎えた人にとっては、元日もいつもと変わらぬ1日でしかなく、心など引き締まるわけがないのです。

そこで、みなさんに問いかけたいのです。「あなたはどんな気持ちで新年を迎えましたか？」と。学生の君たちの場合、元日のような節目がたくさんあります。入学式、卒業式、各学期の始業式。言ってみれば、新たな気持ちで自分自身をいい方向に変えるチャンスがたくさんあるということです。君たちにはたくさんの節目をもっとうまく利用して成長していつてもらいたいと思います。3学期始業式を節目に、何か目標を立て頑張ってみてはどうでしょうか。もしかしたら、3学期修了後には大きく成長しているかもしれませんよ。

<新年に関わる名言>

①人と比較して劣っていても、決して恥することではない。けれども、去年の自分と今年の自分を比較して、もしも今年が劣っているとしたら、それは恥すべきことである。

人間は少しずつでも成長し続けていかなければいけないということです。

② We all get the exact same 365 days.

The only difference is what we do with them.
「私たちはみんな全く同じ365日を手に入れる。唯一の違いは、私たちがその365日をどうするかである。」

今日をどう過ごすのか。その積み重ねの違いで人間の人生は大きく変わっていきます。

ホームページで日々の学校生活の様子を紹介しています。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>

